科目一覧(曜日・時限順)

秋学期

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
月	2	27	仏教と文化Ⅱ	木村文輝	10	日進
		29	宗教社会学Ⅱ	熊田一雄	5	日進
		49	東洋史特殊講義B－Ⅱ	広中一成	3	日進
月	3	74	マクロ経済学Ⅱ	吉田雅彦	2	名城公園
		79	東西交渉史Ⅱ	松下憲一	10	日進
月	4	23	現代社会と宗教Ⅱ	伊藤雅之	9	日進
		46	古文書学Ⅱ	中川すがね	6	日進
火	2	10	言語・文化と教育入門	藤田賢	5	日進
		33	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	清野宏道	5	日進
		34	考古学概説Ⅱ	加藤一郎	3	日進
		36	古典文学研究Ⅱ	川名淳子	7	日進
		39	日本の思想Ⅱ	下川玲子	8	日進
		61	日本史特殊研究A－Ⅱ	松薗斉	10	日進
火	3	14	ドイツ語Ⅳ(表現)	三宅恭子	10	日進
		21	仏教の歴史Ⅱ	石田尚敬	10	日進
		24	中国仏教の思想Ⅱ	大松久規	9	日進
		66	日本の近代文学Ⅱ	吉田遼人	7	日進
火	4	70	ミクロ経済学Ⅱ	王嘉陽	3	名城公園
		72	ミクロ経済学Ⅱ	三好向洋	2	名城公園
水	1	37	アジアのなかの日本文化Ⅱ	小﨑智則	12	日進
		40	国際関係史	杉山知子	1	日進
水	3	78	仏典講読Ⅱ	河合泰弘	10	日進
水	4	59	地域史特殊研究C－Ⅱ	松島周一	2	日進
		63	言語と文化Ⅱ	三木理	5	日進
木	1	31	宗教心理学Ⅱ	熊田一雄	5	日進
		51	イギリス文学研究b	星久美子	5	日進
木	2	2	日英語比較論	石川弓子	1	日進
		8	日本語学Ⅱ	多門靖容	10	日進
木	3	16	言語学Ⅱ	三宅俊浩	8	日進
		53	地域宗教文化Ⅲ－Ⅱ	松浦史明	10	日進
木	4	19	インド仏教の思想Ⅱ	石田尚敬	8	日進
金	2	42	アメリカ文化特講Ⅰb	高木眞理子	3	日進
金	3	12	英語研究特講Ⅰb	前田満	5	日進
金	4	55	仏教美術Ⅱ	松浦史明	15	日進
		56	大衆文化論	松崎博	5	日進

授業時間帯

	【日進キャンパス】	【名城公園キャンパス】
1時限	９：３０～１１：００	９：００～１０：３０
2時限	１１：１０～１２：４０	１０：４０～１２：１０
3時限	１３：３０～１５：００	１３：１０～１４：４０
4時限	１５：１０～１６：４０	１４：５０～１６：２０
5時限	１６：５０～１８：２０	１６：３０～１８：００

科目一覧(ジャンル別)

言 語

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
2	日英語比較論	日本語と英語の違いを考える	石川弓子	秋	木	2	1	日進
8	日本語学Ⅱ	ことばの仕組みを探る	多門靖容	秋	木	2	10	日進
10	言語・文化と教育入門	第二言語習得・応用心理言語学	藤田賢	秋	火	2	5	日進
12	英語研究特講Ⅰb	言語とコミュニケーションの仕組み	前田満	秋	金	3	5	日進
14	ドイツ語Ⅳ(表現)	ドイツ語表現の基礎を学ぶ	三宅恭子	秋	火	3	10	日進
16	言語学Ⅱ	言語、とりわけ日本語の歴史的変化を知ろう。	三宅俊浩	秋	木	3	8	日進

宗 教

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
19	インド仏教の思想Ⅱ	『般若心経』とその関連文献を読む	石田尚敬	秋	木	4	8	日進
21	仏教の歴史Ⅱ	『法顕伝』及び『大唐西域記』を通してインド仏教の姿を知る	石田尚敬	秋	火	3	10	日進
23	現代社会と宗教Ⅱ	宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化	伊藤雅之	秋	月	4	9	日進
24	中国仏教の思想Ⅱ	仏教を実践するために	大松久規	秋	火	3	9	日進
27	仏教と文化Ⅱ	無宗教日本の葬式仏教	木村文輝	秋	月	2	10	日進
29	宗教社会学Ⅱ	よくわかる宗教社会学	熊田一雄	秋	月	2	5	日進
31	宗教心理学Ⅱ	現代日本の宗教心理複合運動	熊田一雄	秋	木	1	5	日進
33	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	道元の基本思想を学ぶ	清野宏道	秋	火	2	5	日進
78	仏典講読Ⅱ	『祖堂集』を読む	河合泰弘	秋	水	3	10	日進

文 化 ・ 歴 史

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
34	考古学概説Ⅱ	考古学の基本と考古学による日本歴史	加藤一郎	秋	火	2	3	日進
36	古典文学研究Ⅱ	王朝の和歌を読む	川名淳子	秋	火	2	7	日進
37	アジアのなかの日本文化Ⅱ	日本における漢字・漢文・漢学の受容	小崎智則	秋	水	1	12	日進
39	日本の思想Ⅱ	日本思想史概略(近世から近代まで)	下川玲子	秋	火	2	8	日進
40	国際関係史	戦争と歴史認識	杉山知子	秋	水	1	1	日進
42	アメリカ文化特講Ⅰb	「アジア系」アメリカ人の経験を通してみるアメリカ社会:寛容な社会をめざして	高木眞理子	秋	金	2	3	日進
46	古文書学Ⅱ	日本近世の古文書を探す・読む	中川すがね	秋	月	4	6	日進
49	東洋史特殊講義B－Ⅱ	20世紀前半の中国をめぐる諸相②	広中一成	秋	月	2	3	日進
51	イギリス文学研究b	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19 世紀以降)	星久美子	秋	木	1	5	日進
53	地域宗教文化Ⅲ－Ⅱ	東南アジアの歴史と宗教2	松浦史明	秋	木	3	10	日進
55	仏教美術Ⅱ	仏教図像から見えてくるグローバルとローカル	松浦史明	秋	金	4	15	日進
56	大衆文化論	ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡	松崎博	秋	金	4	5	日進
59	地域史特殊研究C－Ⅱ	戦国・織豊期の尾張・三河	松島周一	秋	水	4	2	日進
61	日本史特殊研究A－Ⅱ	平安時代から中世にかけての王朝政治と文化	松薗斉	秋	火	2	10	日進
63	言語と文化Ⅱ	日本語の語彙(ケーススタディ)	三木理	秋	水	4	5	日進
66	日本の近代文学Ⅱ	大正期以降の小説表現史	吉田遼人	秋	火	3	7	日進
79	東西交渉史Ⅱ	東西交渉とソグド人	松下憲一	秋	月	3	10	日進

経　済

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
70	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王嘉陽	秋	火	4	3	名城公園
72	ミクロ経済学Ⅱ	消費者行動と生産者行動の分析	三好向洋	秋	火	4	2	名城公園
74	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済政策	吉田雅彦	秋	月	3	2	名城公園

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
2	秋	言語	日英語比較論		石川弓子	木	2	1

【副題】

日本語と英語の違いを考える

開講キャンパス

日進

【講義内容】

日本語と英語を語彙、文法、文の構造、表現方法、音声、非言語行動など、様々な側面から比較し、その違いを理論的に学ぶことを通じて、例えば和文英訳、英文和訳の際により適切な語彙を選択したり、より適切な訳し方が出来るようになります。また、特に表現方法の違いを学びながら、日本と英語圏の文化や慣習、考え方の違いの一部も学びます。

【パソコンの利用方法】

Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信。授業欠席時の録画配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
8	秋	言語	日本語学Ⅱ		多門靖容	木	2	10

【副題】

ことばの仕組みを探る

開講キャンパス

日進

【講義内容】

主として現代日本語をデータとして、言語学の基礎的な考え方を学ぶ。秋学期は意味論、文法論を学ぶ。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
10	秋	言語	言語・文化と教育入門		藤田賢	火	2	5

【副題】
第二言語習得・応用心理言語学

開講キャンパス
日進

【講義内容】
第二言語習得研究から外国語学習・外国語教育の在り方について考えます。特に、人間はどのように言語を習得するか、母語と第二言語の関係はどのようになっているか、第二言語習得の認知メカニズム、動機づけなどについて学びます。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
12	秋	言語	英語研究特講Ｉｂ		前田満	金	3	5

【副題】
言語とコミュニケーションの仕組み

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この授業では、私たちの日常的なコミュニケーション活動と社会における言語の働きについて考えます。コミュニケーションはよく単なる情報のやりとりだと言われますが、これはあまりにも単純な見方です。この授業では、記号としての言語の働きやコンテクストの重要性、そして言語の社会行動的側面に留意し、コミュニケーションの仕組みを明らかにします。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。講義についての連絡。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
14	秋	言語	ドイツ語Ⅳ(表現)		三宅恭子	火	3	10

【副題】

ドイツ語表現の基礎を学ぶ

開講キャンパス

日進

【講義内容】

「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。

【パソコンの利用方法】

オフィスアプリケーション(Word、Excel 等)の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】

講義資料の配信。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
16	秋	言語	言語学Ⅱ		三宅俊浩	木	3	8

【副題】

言語、とりわけ日本語の歴史的変化を知ろう。

開講キャンパス

日進

【講義内容】

日本語が歴史上、どのように変化してきて現代日本語が形成されたかを、文献により得られるデータをもとに概説する。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。リアクションペーパーとして使用する。。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
19	秋	宗教	インド仏教の思想Ⅱ		石田尚敬	木	4	8

【副題】
『般若心経』とその関連文献を読む

開講キャンパス
日進

【講義内容】
本講義では、インドにおける仏教思想の展開を扱います。今年度は『般若心経』を取り上げ、サンスクリット原典とその翻訳、さらには玄奘などによる中国語訳（漢訳）を併せて講読し、インド大乗仏教の特色を考察したいと思います。後期は、『八千頌般若』や『二万五千頌般若』など、関連する般若経典も参照し、般若経典について理解を深めます。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
課題・レポート等の配信。講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
21	秋	宗教	仏教の歴史Ⅱ		石田尚敬	火	3	10

【副題】
『法顕伝』及び『大唐西域記』を通してインド仏教の姿を知る

開講キャンパス
日進

【講義内容】
本講義では、インド仏教の基礎知識を身に着け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、法顕の『仏国記』や玄奘の『大唐西域記』を取り上げ、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を通してインド仏教の歴史を考察します。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
23	秋	宗教	現代社会と宗教Ⅱ		伊藤雅之	月	4	9

【副題】
宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある（広義の）宗教への理解を深めていくことを目的とする。秋学期は、人々の幸福と宗教共同体との関係、および欧米の価値観の基盤となっているユダヤ・キリスト教文化の特徴について概観する。
授業への感想を 2 日以内に Teams に書き込んでいただきます。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
24	秋	宗教	中国仏教の思想Ⅱ		大松久規	火	3	9

【副題】
仏教を実践するために

開講キャンパス
日進

【講義内容】
いかに仏教を実践すべきか、中国で成立した文献の読解を通して学びます。実践の理論は、詳細に体系化されているため煩瑣に見えるかも知れませんが、全体を大きく捉えられるよう心掛けながら読解します。その過程で、中国仏教における基礎知識や専門用語についても学びます。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
27	秋	宗教	仏教と文化Ⅱ		木村文輝	月	2	10

【副題】

無宗教日本の葬式仏教

開講キャンパス

日進

【講義内容】

本講義では、多くの人々が自らのことを「無宗教」と言いながら、その一方で宗教的な事柄に関わっている現代日本の状況を読み解きます。具体的には、明治維新以来の日本における仏教を中心とする宗教史を概観するとともに、現代日本人の「無宗教」意識、「ほとけ」という語にこめられた意味、仏教からみた「尊厳」、葬式仏教の意義と状況などを考察します。テキストには木村文輝著『仏法僧の現在』(八千代出版)を用います。また、本講義は一方的な知識の伝達ではありません。授業の中では、出席者からの意見表明も歓迎したいと思います。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】

講義資料の配信。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
29	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ		熊田一雄	月	2	5

【副題】

よくわかる宗教社会学

開講キャンパス

日進

【講義内容】

『よくわかる宗教社会学』をテキストとして、宗教と社会の相関関係を幅広く概説します。あくまで概論ですので、教員自身のオリジナルな研究の話はしません。

【パソコンの利用方法】

Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
31	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ		熊田一雄	木	1	5

【副題】
現代日本の宗教心理複合運動

開講キャンパス
日進

【講義内容】
アルコール・薬物依存、ギャンブル依存に始まり、ゲーム障害、スマホ・ネット依存・・・・・・。現代社会に依存症のタネはつきません。依存症から回復するためには、患者同士が支え合う自助グループに参加する必要がありますが、この自助グループが実は宗教なので、概説します。この授業を取ったからといって依存症治療の専門家になれる訳ではありませんが、身近な人が依存症になったときに助言できるくらいになると思います。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
レポート課題登録。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
33	秋	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅱ		清野宏道	火	2	5

【副題】
道元の基本思想を学ぶ

開講キャンパス
日進

【講義内容】
道元の著作に基づいて、思想的な特性を学びます。特に、「修行とさとりの関係」を中心に、『正法眼蔵』によって道元禅の基本となる考え方をとらえます。『正法眼蔵』は、道元の著作中、最も大部なものであり、「道元思想の礎」といわれることもあるほど重要な典籍です。そこには、仏道に対する姿勢や心構えをはじめ、仏教における哲理の探求のほか、仏法の視点から現代にも通用するような、円満な人生を歩むまなざしが綴られています。道元は、仏道をどのようにとらえ、人生の基幹としたのか。本講義では、その深奥に迫ります。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
34	秋	文化・歴史	考古学概説Ⅱ		加藤一郎	火	2	3

【副題】
考古学の基本と考古学による日本歴史

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この講義では、物質的な痕跡から人類の過去を探る学問である考古学の射程や方法、特徴、歴史などを解説するとともに、その考古学という方法によって解明された日本の歴史を紹介します。具体的にいうと、前半では考古学の基本的な概念や方法論などについて学史を紐解きながら解説するとともに、関連する諸科学を紹介し、考古学と現代社会のかかわりについても考えます。後半は、考古学にもとづく研究によって、日本列島における歴史や社会の変化をどのようにとらえることができるのか、通史的に概説をおこないます。

紙媒体でレジュメは配付しません。Teams 経由でダウンロードもしくはプリントアウトしてください。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
36	秋	文化・歴史	古典文学研究Ⅱ		川名淳子	火	2	7

【副題】
王朝の和歌を読む

開講キャンパス
日進

【講義内容】
本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を読み解く。恋歌や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説もたどってゆく。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
37	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化Ⅱ		小﨑智則	水	1	12

【副題】
日本における漢字・漢文・漢学の受容

開講キャンパス
日進

【講義内容】
日本文化に対して、歴史的にとりわけ大きな影響を与えているのが中国の文化です。中国の文化は、外交使節や留学僧、貿易を通して、また、時として朝鮮半島を経由して漢籍とともに我が国に伝わり、様々な形で現在に受け継がれています。インドの文化や仏教でさえ、少なからず中国文化のフィルターを透過して日本に到達しています。

本講義では、そうした中国の漢字や漢文の世界が、どのような形で日本の言語・文学・思想などの中に取り入れられていったのかを検討したいと思います。

受講上の注意「副題と講義内容に十分ご留意の上で受講していただくようお願いいたします。」（※科目名からイメージした内容と違うという趣旨のクレームを頂戴しました）

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
39	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ		下川玲子	火	2	8

【副題】
日本思想史概略（近世から近代まで）

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この授業では、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学ぶ。日本の思想 Ⅱでは、春学期の日本の思想 Ⅰ に引き続いて、日本の近世と近代の思想家を取り上げる。日本の近世思想は朱子学の受容からその批判へと展開していった。江戸時代末期には、開国して西洋思想を受け容れて近代国家を構築すべきという考えが強くなり明治を迎える。そのような近世から近代にかけての日本思想の展開を把握できるようにする。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
40	秋	文化・歴史	国際関係史		杉山知子	水	1	1

【副題】
戦争と歴史認識

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この授業では、まず初めに明治維新から第二次大戦終結までの日本が関わった戦争や紛争について学びます。戦争の経緯を学ぶなかで、日本の視点、他国の視点により「戦争」がかなり異なって見えることを学びます。また、時間の経過とともに過去の戦争のとらえ方に変化がみられます。その時々の国内・海外事情も影響するかもしれません。先の大戦から 50 年以上がたち、「先の大戦」をどのようにとらえるようになったのか、その後の変化についても学んでいきたいと思います。（諸事情により講義内容に変更があることがあります。ご理解ください。）

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業時に配布資料があります。Teams にも資料をアップロードしますが、Teams 利用なしで対応します。。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
42	秋	文化・歴史	アメリカ文化特講Ｉｂ		高木眞理子	金	2	3

【副題】
「アジア系」アメリカ人の経験を通してみるアメリカ社会：寛容な社会をめざして

開講キャンパス
日進

【講義内容】
アメリカにおけるアジア系（日系、中国系、コリアン系、フィリピン系など）の戦前の移民の経験を理解した上で、資料（日本語、英語）を読み解きながら、第二次大戦中・戦後までの各アジア系アメリカ人コミュニティのアメリカにおける経験を概観する。移民一世、二世に関するビデオやオーラルヒストリーなどの資料を通じ、社会背景と移民の経験の「追体験」を試み、特に、移民母国とアメリカとの国際関係やアメリカにおける偏見との戦いの意味を探る。
試験が15週目になる場合がある。試験を受けるかどうかは受講者に自由である。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
46	秋	文化・歴史	古文書学Ⅱ		中川すがね	月	4	6

【副題】
日本近世の古文書を探す・読む

開講キャンパス
日進

【講義内容】
日本近世の古文書の入門的授業です。パワーポイント使用。初歩的な古文書の読解や翻刻の方法、パソコン等でのデジタルアーカイブの検索や古文書データのダウンロードの方法などを学びます。 若尾俊平ほか編『増訂近世古文書解読字典』柏書房をテキストとして使用します 。
チームスで課題を出すので、家での予習復習が必要です。操作方法についてはサポートいたします。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
49	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義B－Ⅱ		広中一成	月	2	3

【副題】
20 世紀前半の中国をめぐる諸相②

開講キャンパス
日進

【講義内容】
20 世紀前半の中国をめぐる諸問題を取り上げる。特に満洲事変以降の日本との関係、国共両党の合作、日中戦争勃発後の日中関係や戦場の様子などをとおして、この時代の中国の様相をみていく。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
51	秋	文化・歴史	イギリス文学研究b		星久美子	木	1	5

【副題】
イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19 世紀以降)

開講キャンパス
日進

【講義内容】
この授業では、19 世紀、とくにヴィクトリア朝から現代に至るイギリスおよびイギリス以外の英語圏の文学を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
53	秋	文化・歴史	地域宗教文化Ⅲ－Ⅱ		松浦史明	木	3	10

【副題】
東南アジアの歴史と宗教2

開講キャンパス
日進

【講義内容】
東南アジアは、世界的に見ても極めて多様な宗教が分布している地域です。その多様さは、この地域が長い時間をかけて、ヒンドゥー教・仏教・イスラーム教・キリスト教などの外来の宗教と、土着の文化が融合するなかで生み出されてきました。この講義では、東南アジア史の基本的な流れを把握しつつ、各宗教の受容と変容がこの地域に何をもたらしたのかについて考えます。
秋学期では、東南アジアの上座部仏教化とイスラーム化、フィリピンのキリスト教などについて講義します。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。。

【WebCampus の利用方法】
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
55	秋	文化・歴史	仏教美術Ⅱ		松浦史明	金	4	15

【副題】
仏教図像から見えてくるグローバルとローカル

開講キャンパス
日進

【講義内容】
最初は口から口へと伝えられた仏教の教えや説話は、やがて文字に書いて記録されるとともに、図像に描いて表現されるようになりました。祈りと修行の場である仏教寺院は、様々な美術で彩られていきます。この授業では、インド・東南アジア・東アジアなどに残された色々な種類の仏教美術を取り上げます。
秋学期では、仏教美術の地域間比較を中心に、仏教というグローバルな思想が、各地域のローカルな文脈の中でどのように受け入れられ、表現されていったかを考えます。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。。

【WebCampus の利用方法】
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
56	秋	文化・歴史	大衆文化論		松崎博	金	4	5

【副題】
ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡

開講キャンパス
日進

【講義内容】
アメリカ大衆文化の華、ブロードウェイ・ミュージカルを、音源や映像資料などを使いながら、娯楽作品としてだけではなく、その時々のアメリカ社会を映すか鏡として検討します。新規の映画公開、映像ソフトの発売、公演スケジュールにより、シラバスが変更されることがあります。

【パソコンの利用方法】
Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】
チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
連絡等。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
59	秋	文化・歴史	地域史特殊研究C－Ⅱ		松島周一	水	4	2

【副題】
戦国・織豊期の尾張・三河

開講キャンパス
日進

【講義内容】
織田信長、羽柴秀吉、徳川家康は日本史上の大きな存在として知られていますが、彼らの活動がもともとの地元であった尾張・三河とどのように関わっていたのかはあまり知られていない部分もあるかと思います。近年は新しい研究も進められていて、以前とは異なる歴史の見方が必要な場合もあります。尾張・三河という地域に着目することで、彼らの活躍した時代を見直す切り口を考えていきたいと思います。
歴史の授業ですから、史料を読みながら講義を聞いてもらうことが多くなります。専門的な知識などは必要ありませんが、多少難解な言葉や文章に、私の説明を聞きながら付き合うような根気は必要になるかなとは思います。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
61	秋	文化・歴史	日本史特殊研究A－Ⅱ		松薗斉	火	2	10

【副題】
平安時代から中世にかけての王朝政治と文化

開講キャンパス
日進

【講義内容】
日本の中世社会を研究するための史料の一つとして近年重視されているのが、絵巻物である。従来、その研究は美術史の分野で中心的になされてきたが、歴史学研究においても、古文書や古記録などの文献と並んで、史料として使用され、かつその研究方法も開拓されつつある。ここでも絵巻物をその制作の背景などを考えながら、中世の文化の具体相を解説していこう。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
63	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ		三木理	水	4	5

【副題】

日本語の語彙(ケーススタディ)

開講キャンパス

日進

【講義内容】

「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙について更に深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例(地名、人名など)を採り上げ、その特徴などについて考察していくつもりです。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思います。語彙(単語)に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。
教科書は使用しません。各回の授業資料は事前に Teams にアップロードします。
事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用下さい。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に十分に対応できない可能性があります。)

【パソコンの利用方法】

Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
66	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ		吉田遼人	火	3	7

【副題】

大正期以降の小説表現史

開講キャンパス

日進

【講義内容】

明治 40 年前後、日本の近代文学は確立期を迎えるに至りました。しかしながら、その事実は、〈小説〉をいかに書くかという問題が解消されたことを意味しません。大正、昭和と時代が推移しても、〈小説〉表現は新しい感性によって模索され続け、その問題意識は現代文学の担い手たちにもなお抱かれています。本講義では、その具体的な諸相について、大正期以降の文学史を彩る文豪の足跡や現代作家の活躍に目を向けながら考えてゆきます。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
70	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		王嘉陽	火	4	3

【副題】

ミクロ経済学の基礎から学ぼう

開講キャンパス

名城公園

【講義内容】

この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。

【パソコンの利用方法】

Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
72	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		三好向洋	火	4	2

【副題】

消費者行動と生産者行動の分析

開講キャンパス

名城公園

【講義内容】

消費者行動の基礎である 2 財モデルと、生産者行動の基礎である費用関数を用いた分析の基礎を学習する

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信。課題・レポート等の配信。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
74	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		吉田雅彦	月	3	2

【副題】
マクロ経済政策

開講キャンパス
名城公園

【講義内容】
貨幣市場について理論・制度的に解説します。日銀の役割並びに貨幣の供給および需要について解説します。また，マクロ経済学の理論的フレームワークを利用して，財政政策や金融政策の効果を解説します。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
78	秋	宗教	仏典講読Ⅱ		河合泰弘	水	3	10

【副題】
『祖堂集』を読む

開講キャンパス
日進

【講義内容】
『祖堂集』は、中国五代南唐の保大10年（952）に成立した禅宗燈史（伝燈の歴史書）であり、過去七仏より雪峰義存（822-908）、臨済義玄（?-866）の孫弟子に至る256人の仏法伝授の次第と、悟りの機縁の語句を収録している。総合的な禅宗史伝の書としては現存最古のもので、その立伝態度は諸禅師の語要を集めることに主眼があり、いわば「語録のダイジェスト版」と言える貴重な禅宗史書である。この授業では、雲門宗、法眼宗に繋がる雪峯義存（822-908）章を講読する。雪峯の行状や言葉を学び、禅宗の淵源を探究する。

【パソコンの利用方法】
授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】
授業では使用しない。講義資料の配信。課題・レポート等の配信。授業欠席時の録画配信。チャット（教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している）。

【WebCampus の利用方法】
授業では使用しない。講義資料の配信。レポート課題登録。

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
79	秋	文化・歴史	東西交渉史Ⅱ		松下憲一	月	3	10

【副題】

東西交渉とソグド人

開講キャンパス

日進

【講義内容】

ユーラシアの東西交渉においてソグド人の果たした役割について概説します。ソグド人は 2 世紀後半から 8 世紀まで、ユーラシアの中央から東方の各地に居住し、そのソグド人ネットワーク網を利用して東西交易に従事しました。また交易を担うだけでなく、遊牧国家や中国王朝の政権にも参加し、外交・軍事で活躍しました。この講座では、ソグド人の活動に注目していきます。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない。

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない。